

# 資 料

資料1 調査票

資料2 インタビューガイド



「看護実践能力の育成に資する効果的な教育方法に関する研究」  
質問紙調査

I. 看護師養成所の基礎情報

【1】貴校の課程をお答えください(1つ選択)。

- 1. 3年課程 全日制 (修業年限3年)
- 2. 3年課程 全日制 (修業年限4年)
- 3. 3年課程 定時制
- 4. 2年課程 全日制
- 5. 2年課程 定時制
- 6. 総合カリキュラム (保健師・看護師)

【2】貴校の所在する都道府県をお答えください。

- ( ) 都・道・府・県

【3】貴校の設置主体をお答えください(1つ選択)。

- 1. 独立行政法人国立病院機構 (NHO)
- 2. 独立行政法人労働者健康福祉機構
- 3. 独立行政法人地域医療機能推進機構 (JCHO)
- 4. その他の独立行政法人
- 5. 国
- 6. 都道府県
- 7. 市町村
- 8. 日本赤十字社
- 9. 済生会
- 10. 全国学生農業協同組合連合会
- 11. 公益法人
- 12. 医療法人
- 13. 学校法人
- 14. 医師会
- 15. その他 ( )

【4】貴校の設置主体は、病院を有していますか(1つ選択)。

- 1. はい (有している)
- 2. いいえ (有していない)

【5】2016年入学生について、貴校の1学年定員をお答えください(1つ選択)。

- 1. 40人以下
- 2. 41人以上～60人以下
- 3. 61人以上～80人以下
- 4. 81人以上～100人以下
- 5. 101人以上～120人以下
- 6. 121人以上

【6】2016年4月1日時点での貴校の課程における教員数をお答えください。

常勤		非常勤	
専任教員	( )人	実習指導教員	( )人
	( )人	非常勤講師	( )人
	( )人	実習指導教員	( )人

【7】教材教具の状況で、授業に活用しているものをすべてお答えください(複数回答)。

- 1. 高機能シミュレーター (コンピュータでプログラム制御されたシミュレーター)
- 2. 全身生体モデル (成人)
- 3. 全身生体モデル (新生児、小児)
- 4. 部分的な生体モデル (採血用、導尿用、創傷管理など)
- 5. 装着して使用する教員 (インスタントシニア、妊婦体験モデルなど)
- 6. その他 (具体的に )

II. 教育方法の実態

A. シミュレーション教育

シミュレーション教育とは、実際の臨床を模倣または再現した状況の中で、知識や技術・態度を統合して経験を通して学び、臨床判断と看護実践能力を身につけることを目的とする教育とします。技術の習得のみを目的に、シミュレーターを使用する教育はこれには含まれません。

例えば、臨床の場面を想定した配役やシナリオがあり、学生が知識や技術だけでなくコミュニケーションなど態度を含めて一連の再現場面を経験しながら学ぶことを意味します。

【8】貴校は、シミュレーション教育を行っていますか(1つ選択)。

- 1. はい (実施している)
- 2. いいえ (実施していない)

【8-1】にお進みください。

【8-2】にお進みください。

【8-1】シミュレーション教育を行っている場合には、該当する科目について、aからiの内容をご回答ください。該当する科目が複数ある場合には主要な4科目を選んでご回答ください。

a. 科目分野	b. 科目 (学年配当は複数回答)	c. 学年配当 (通年の場合は複数回答)	d. 授業形態	e. 実施条件 (複数回答)	f. 導入したならい (複数回答)	g. 導入した成果(学生の臨床判断能力)	h. 導入した成果(学生の臨床実践能力)	i. 導入した教員が感じる負担感
1. 基礎分野	1. 1年前期	1. 1年前期	1. 講義	1. 機器を使用	1. 実習への導入準備教育のため	1. 向上した	1. 向上した	1. とてもある
2. 専門基礎分野	2. 1年後期	2. 1年後期	2. 演習	2. シナリオを準備	2. 倫理上、安全上の課題から実施できない実践能力を修得するため	2. どちらともいえない	2. どちらともいえない	2. 少しある
3. 基礎	3. 2年前期	3. 2年前期	3. 実習	3. 配役を設定	3. 実習の場が確保できないため	3. 向上した	3. 向上した	3. 全くない
4. 成人	4. 2年後期	4. 2年後期	4. 事前ガイダンスや事前課題を実施	4. 事前ガイダンスや事前課題を実施	4. 学生の臨床判断能力を強化するため	4. 向上した	4. 向上した	
5. 老年	5. 3年前期	5. 3年前期	5. テアラーフィング、リフレクションを導入	5. テアラーフィング、リフレクションを導入	5. 実習の場が確保できないため	5. 向上した	5. 向上した	
6. 小児	6. 4年前期	6. 4年前期	6. 教員がファシリテーターの役割を遂行	6. 教員がファシリテーターの役割を遂行	6. 学生の臨床判断能力を強化するため	6. 向上した	6. 向上した	
7. 母性	7. 3年前期	7. 3年前期	7. 教員は特別な研修を受講し準備	7. 教員は特別な研修を受講し準備	7. 学生の主体性を強化するため	7. 向上した	7. 向上した	
8. 精神	8. 4年後期	8. 4年後期	8. その他 ( )	8. その他 ( )	8. その他 ( )	8. 向上した	8. 向上した	
9. 在宅								
10. 統合								

「科目1にシミュレーション教育を導入した成果」について具体的に記載ください。(自由記載)

a. 科目名	b. 科目分野	c. 学年担当 (通年の場合は複数回)	d. 授業形態	e. 実施条件 (複数回答)	f. 導入したならい (複数回答)	g. 導入した成果 (学生の臨床判断能力)	h. 導入した成果 (学生の看護実践能力)	i. 導入した教育が感ずる負担感
科目4 ( )	1. 基礎分野 2. 専門基礎分野 3. 基礎 4. 成人 5. 老年 6. 小児 7. 母性 8. 精神 9. 在宅 10. 統合	1. 1年前期 2. 1年後期 3. 2年前期 4. 2年後期 5. 3年前期 6. 3年後期 7. 4年前期 8. 4年後期	1. 講義 2. 演習 3. 実習	1. 機器を使用 2. シナリオを準備 3. 配役を設定 4. 事前ガイダンスや事前課題を実施 5. テブリーフィング、リフレクションを導入 6. 教員がファシリテーターの役割を遂行 7. 教員は特別な研修を受講し準備 8. その他 ( )	1. 実習への導入準備教育のため 2. 倫理上、安全上の課題から実施できない実践能力を修得するため 3. 実習の場が確保できないため 4. 学生の臨床判断能力を強化するため 5. 学生の主体性を強化するため 6. 学生のコミュニケーション能力を強化するため 7. その他 ( )	1. 向上した 2. どちらともいえない 3. 向上しない	1. 向上した 2. どちらともいえない 3. 向上しない	1. とてもある 2. 少しある 3. 全くない

「科目4にシミュレーション教育を導入した成果」について具体的に記載ください。(自由記載)

【8-2】シミュレーション教育を行っていない場合には、その理由をご回答ください。

1. 必要性を感じない。

2. 必要だと認識しているが難しい。

【9】にお進みください。

【8-3】シミュレーション教育を導入することが難しい理由であてはまるものすべてをご回答ください(複数回答)。

1. 施設・設備・機器が整っていない

2. シナリオが準備できない

3. 機器の操作が難しい

4. 具体的な運用方法がわからない

5. 実施できるだけの教員数がない

6. ファシリテーターをできる教員がいない

7. 教員が研修をうける機会がない

8. 学生の準備状況が整っていない

9. その他 ( )

a. 科目名	b. 科目分野	c. 学年担当 (通年の場合は複数回)	d. 授業形態	e. 実施条件 (複数回答)	f. 導入したならい (複数回答)	g. 導入した成果 (学生の臨床判断能力)	h. 導入した成果 (学生の看護実践能力)	i. 導入した教育が感ずる負担感
科目2 ( )	1. 基礎分野 2. 専門基礎分野 3. 基礎 4. 成人 5. 老年 6. 小児 7. 母性 8. 精神 9. 在宅 10. 統合	1. 1年前期 2. 1年後期 3. 2年前期 4. 2年後期 5. 3年前期 6. 3年後期 7. 4年前期 8. 4年後期	1. 講義 2. 演習 3. 実習	1. 機器を使用 2. シナリオを準備 3. 配役を設定 4. 事前ガイダンスや事前課題を実施 5. テブリーフィング、リフレクションを導入 6. 教員がファシリテーターの役割を遂行 7. 教員は特別な研修を受講し準備 8. その他 ( )	1. 実習への導入準備教育のため 2. 倫理上、安全上の課題から実施できない実践能力を修得するため 3. 実習の場が確保できないため 4. 学生の臨床判断能力を強化するため 5. 学生の主体性を強化するため 6. 学生のコミュニケーション能力を強化するため 7. その他 ( )	1. 向上した 2. どちらともいえない 3. 向上しない	1. 向上した 2. どちらともいえない 3. 向上しない	1. とてもある 2. 少しある 3. 全くない
科目3 ( )	1. 基礎分野 2. 専門基礎分野 3. 基礎 4. 成人 5. 老年 6. 小児 7. 母性 8. 精神 9. 在宅 10. 統合	1. 1年前期 2. 1年後期 3. 2年前期 4. 2年後期 5. 3年前期 6. 3年後期 7. 4年前期 8. 4年後期	1. 講義 2. 演習 3. 実習	1. 機器を使用 2. シナリオを準備 3. 配役を設定 4. 事前ガイダンスや事前課題を実施 5. テブリーフィング、リフレクションを導入 6. 教員がファシリテーターの役割を遂行 7. 教員は特別な研修を受講し準備 8. その他 ( )	1. 実習への導入準備教育のため 2. 倫理上、安全上の課題から実施できない実践能力を修得するため 3. 実習の場が確保できないため 4. 学生の臨床判断能力を強化するため 5. 学生の主体性を強化するため 6. 学生のコミュニケーション能力を強化するため 7. その他 ( )	1. 向上した 2. どちらともいえない 3. 向上しない	1. 向上した 2. どちらともいえない 3. 向上しない	1. とてもある 2. 少しある 3. 全くない

「科目2にシミュレーション教育を導入した成果」について具体的に記載ください。(自由記載)

「科目3にシミュレーション教育を導入した成果」について具体的に記載ください。(自由記載)



構成要素	卒業時の到達目標	a.平均的な学生の卒業時の到達度	b.シミュレーション教育で期待される成果
E.アセスメント	13 対人技法を用いて、対象者と援助的なコミュニケーションをとる	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない
	14 対象者に必要な情報を対象者に合わせた方法で提供する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない
	15 対象者からの質問・要請に誠実に対応する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない
	16 健康状態のアセスメントに必要な客観的・主観的情報を収集する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない
	17 情報を整理し、分析・解釈・統合し、課題を抽出する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない
	18 対象者及びチームメンバーと協力しながら実施可能な看護計画立案する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない
F.計画	19 根拠に基づいた個別的な看護を計画する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない
	20 計画した看護を対象者の反応を捉えながら実施する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない
	21 計画した看護を安全・安楽・自立に留意し実施する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない
	22 看護援助技術を対象者の状態に合わせて適切に実施する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない
G.実施	23 予測しない状況の変化について指導者又はスタッフに報告する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない
	24 実施した看護と対象者の反応を記録する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない
	25 予測した成果と照らし合わせて、実施した看護の結果を評価する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない
	26 評価に基づいて計画の修正をする	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない

構成要素	卒業時の到達目標	a.平均的な学生の卒業時の到達度	b.シミュレーション教育で期待される成果
I.健康の保持・増進、疾病の予防	27 生涯各期における健康の保持増進や疾病予防における看護の役割を理解する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない
	28 環境の変化が健康に及ぼす影響と予防策について理解する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない
	29 健康増進と健康教育のために必要な舞源を理解する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない
	30 対象者及び家族に合わせた必要な保健指導を実施する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない
	31 妊娠・出産・育児に関わる援助の方法を理解する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない
	32 急激な変化状態(周手術期や急激な病状の変化、救命処置を必要としている等)にある人の病態と治療について理解する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない
	33 急激な変化状態にある人に治療が及ぼす影響について理解する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない
	34 対象者の健康状態や治療を踏まえ、看護の優先順位を理解する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない
	35 状態の急激な変化に備え、基本的な救急救命処置の方法を理解する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない
	36 状態の変化に対処することを理解し、症状の変化について迅速に報告する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない
J.急激な健康状態の変化にある対象者の看護	37 合併症予防の療養生活を支援をする	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない
	38 日常生活の自立に向けたリハビリテーションを支援する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない
	39 対象者の心理を理解し、状況を受けとめられるように支援する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない
	40 慢性的な変化にある対象者の看護	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない

構成要素	卒業時の到達目標	a.平均的な学生の卒業時の到達度	b.シミュレーション教育で期待される成果
L.終末期にある対象への看護	41	慢性的経過をたどる人に治療が及ぼす影響について理解する	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない 4.できない
	42	対象者及び家族が健康障害を受容していく過程を支援する	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない 4.できない
	43	必要な治療計画を生活の中に取り入れられるよう支援する(患者教育)	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない
	44	必要な治療を継続できるようなソーシャルサポートについて理解する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない
	45	急性病態の予防に向けて継続的に観察する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない
	46	慢性的な健康障害を有しながらの生活の質(QOL)向上に向けて支援する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない
	47	死の受容過程を理解し、その人らしく過ごせる支援方法を理解する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない
	48	終末期にある人の治療と苦痛を理解し、緩和方法を理解する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない
	49	看取りをする家族をチームで支援することの重要性を理解する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない
	M.看護専門職の役割	50	看護職の役割と機能を理解する
51		看護師としての自らの役割と機能を理解する	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない 4.できない
N.看護チームにおける委譲と責務	52	看護師は法的範囲に従って仕事を他者(看護補助者等)に委任することを理解する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない
	53	看護師が委任した仕事について様々な側面から他者を支援することを理解する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない
	54	仕事を部分的に他者に委任する場合において、自らに説明義務や責任があることを理解する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない
	55	医療安全の基本的な考え方と看護士の役割について理解する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない

構成要素	卒業時の到達目標	a.平均的な学生の卒業時の到達度	b.シミュレーション教育で期待される成果
O.安全なケア環境の確保	55	医療安全の基本的な考え方と看護士の役割について理解する	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない 4.できない
	56	リスク・マネジメントの方法について理解する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない
	57	治療薬の安全な管理について理解する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない
	58	感染防止の手順を遵守する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない
	59	関係法規及び各種ガイドラインに従って行動する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない
	60	保健・医療・福祉チームにおける看護師及び他職種機能・役割を理解する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない
	61	対象者をとりまく保健・医療・福祉関係者間の協働の必要性について理解する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない
	62	対象者をとりまくチームメンバー間で報告・連絡・相談等を行う	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない
	63	対象者に関するケアについての意思決定は、チームメンバーとともに行う	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない
	64	チームメンバーとともにケアを評価し、再検討する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない
Q.保健・医療・福祉システムにおける看護の役割	65	看護を実践する場における組織の機能と役割について理解する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない
	66	保健・医療・福祉システムと看護の役割を理解する	1.あり 2.なし 3.どちらともいえない 4.できない
	67	国際的観点から医療・看護の役割を理解する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない
	68	保健・医療・福祉の動向と課題を理解する	1.できる 2.ある程度できる 3.あまりできない 4.できない

構成要素	卒業時の到達目標		a. 平均的な学生の卒業時の到達度	b. シミュレーション教育で期待される成果
	69	70		
R. 継続的な学習	様々な場における保健・医療・福祉の連携について理解する		1. できる 2. ある程度できる 3. あまりできない 4. できない	1. あり 2. なし 3. どちらともいえない
	看護実践における自らの課題に取り組むことの重要性を理解する		1. できる 2. ある程度できる 3. あまりできない 4. できない	1. あり 2. なし 3. どちらともいえない
	継続的に自分の能力の維持・向上に努める		1. できる 2. ある程度できる 3. あまりできない 4. できない	1. あり 2. なし 3. どちらともいえない
S. 看護の質の改善に向けた活動	看護の質の向上に向けて看護師として専門性を発展させていく重要性を理解する		1. ほぼ全員 2. 7～8割程度 3. 5～6割程度 4. 5割以下	1. あり 2. なし 3. どちらともいえない
	看護実践に研究成果を活用することの重要性を理解する		1. できる 2. ある程度できる 3. あまりできない 4. できない	1. あり 2. なし 3. どちらともいえない

#### IV. シミュレーション教育、ICT教育を展開する上での課題と工夫

【11】シミュレーション教育を導入する上での課題について自由に記載してください。

【12】ICT教育を導入する上での課題について自由に記載してください。

【13】シミュレーション教育を導入した取組がある学校は、その際の工夫について自由に記載してください。

【14】ICT教育を導入した取組がある学校は、その際の工夫について自由に記載してください。

ご協力ありがとうございます。

平成29年1月27日（金）までに、同封の返信用封筒にてご返送ください。

今後、シミュレーション教育やICT教育に対する先進的な取組について、個別にヒアリング調査を行う計画があります。

ヒアリング調査に関心がある方、貴校の取組について具体的にお話しただけの方は、同封のハガキにヒアリング調査へ参加できることを記載してご返送ください。ヒアリング調査に関しては、改めてご説明をして再度同意をいただきますので、ハガキをお送りいただいた後でも、お断りいただけます。

ハガキを返送する際には、同封した個人情報保護のシールを貼ってご返函ください。



## インタビューガイド

### □ 学校の基礎情報について

課程

1 学年の学生数

教員数

教育理念、教育目的・目標

カリキュラムの構成

#### 1. シミュレーション教育・ICT 教育など、先進的な教育方法の取組の実際

- ・ 導入の背景（ねらいや課題）
- ・ どのような科目に導入しているのか。
- ・ どのような目標（到達目標）を設定しているのか。
- ・ どのような授業の展開なのか。どのような工夫をしているのか。何をどのように活用しているか。特に導入（ブリーフィング）・振り返り（デブリーフィング）はどのようにしているか。
- ・ どのような評価をしているのか。
- ・ 展開する教員の確保、教材の準備（シナリオ、模擬患者等）、学生の準備、教員の研修などはどのようにしているのか。
- ・ 導入しての、運営上の困難や課題は何か。

#### 2. 学習の成果（学生の成長）と課題

- ・ 先進的な教育方法（シミュレーション教育・ICT 教育など）による学生の成長（看護実践能力等）はどのようなものであるか。それらをどのように把握しているのか。
- ・ 導入前後で学習の成果はどのようなものであるか。
- ・ 導入しての、学生の学習上での困難や課題は何か。

#### 3. 地域包括ケアシステムにおける看護師の役割を学ぶための講義、演習、実習

- ・ どのような科目を設定しているのか（科目名、単位数、時間数など）。
- ・ どのような目標を設定しているのか。
- ・ どのような授業の展開なのか。どのような工夫をしているのか。その中でシミュレーション教育・ICT 教育はどのように活用されているか。
- ・ どのような地域の社会資源を開拓したり、確保したりしているのか

#### 4. 教育方法上の課題や問題点

- ・ シミュレーション教育で学習の成果が向上する教育内容は何か。実習でないと学習の成果が得られにくい教育内容は何か。
- ・ 全体を通して、教育方法上の課題や問題点は何か。また看護学実習における課題や問題点は何か。